

感染警戒レベル見直しを受けて 市長メッセージ

市民の皆さん、秋田市長の穂積志です。

おととい4月26日、県は、オミクロン株の特性を踏まえ、県独自の感染警戒レベルについて、新規感染者数で判断するのではなく、病床使用率や重症者の数を重視するなど、国のレベル分類に沿った内容に見直しを行いました。

現在の状況は、病床使用率が低く、医療提供体制が確保されていることから、県は新たな感染警戒レベルを「2」とし、運用を開始したところであります。

これを受けて、本市では秋田市危機管理対策本部会議を開催し、感染対策を徹底した上で、本日28日から、これまで休止していた子ども広場や子育て交流ひろばなどの施設、一つ森公園コミュニティ体育館や秋田テルサ体育館等の高校生以下の利用を再開することといたしました。

明日29日から大型連休に入りますが、この期間中は、県外との往来など、人の移動が活発になることが想定され、連休明けに、感染が拡大することが危惧されます。

市民の皆様には、感染対策と経済活動を両立していくためにも、基本的な感染対策をこれまで以上に徹底するとともに、県外との往来や会食の際は、感染防止対策に最大限の注意を払っていただくようお願いいたします。

感染が心配な方は、無料PCR検査等を活用するようお願いいたします。

また、喉の痛みや発熱など、いつもと違う体調の変化があった場合は、まずは新型コロナウイルスの感染を疑い、会社や学校を必ず休むとともに、早めに「あきた新型コロナ受診相談センター」（018-866-7050）に連絡をし、相談していただくようお願いいたします。

最後に、ワクチン接種についてであります。3回目の接種が進むことにより、感染者の減少や重症化が防げるものと考えております。接種券が届きましたら、モデルナ、ファイザーいずれであっても、早く接種できるワクチンから予約をし、接種していただくよう改めてお願いいたします。

令和4年4月28日 秋田市長 穂積志